

Table with columns: 順位, 国際ID, 略号, 名号, 遺伝因子, 総合指数, 産乳成分, 泌乳形質 (EBV) [信頼度, 国内の娘牛割合, 乳量, 乳脂肪, 乳蛋白質], 耐久成分, 体型形質 (EBV) [信頼度, 国内の娘牛割合, 決定得点, 肢蹄, 乳器], 疾病繁殖成分, 体細胞スコア, 在群期間, 泌乳持続性, 産子難産率, 産子死産率, 血統濃度. Rows 1-40.

(注1)海外種雄牛は、調整交配記録がないこと等のため国内種雄牛と同等の信頼性が確保できないことから参考情報とする。

なお、本評価報告はインターブルによる日本向けの国際評価値を利用しているが、在群期間、泌乳持続性、産子難産率及び産子死産率については、国内の取扱いに準じた種雄牛評価値を掲載している。

(注2)遺伝ベースは2005年に生まれた検定牛の平均。

(注3)泌乳形質の信頼度(75%以上)及び国内の娘牛割合は乳量、体型形質の信頼度(60%以上)及び国内の娘牛割合は決定得点における値。

(注4)遺伝因子の*BLは牛白血球粘着性欠如症(BLAD)のキャリアー、*TLはBLAD検査済み陰性、*MFは単蹄キャリアー、*TMIは単蹄検査済み陰性、*DPIは燐酸合成酵素欠乏症キャリアー、*TDは燐酸合成酵素欠乏症検査済み陰性、*RCは赤毛系遺伝因子(赤毛、黒赤毛、仮赤毛、仮黒赤毛など)を持つもの、*CVIは牛複合脊椎形成不全症(CVM)のキャリアー、*TVIはCVM検査済み陰性であることを示す。

(注5)血統濃度が不明、または93%未満の種雄牛は血統濃度を表示しない。

(注6)表中の各成分は、重み付け後の数値を表示している(産乳成分の重み=7.2、耐久性成分の重み=2.4、病繁殖成分の重み=0.4)。

このため、総合指数は、産乳成分 + 耐久性成分 + 疾病繁殖成分 により計算される。